

令和2年2月3日

二本松市議会議長 様

会 派 名 令和創生の会

代表者名 本多 俊昭



視 察 報 告 書

本会派において、下記のとおり視察を実施したので、報告いたします。

記

1. 視察先 鎌倉市役所及び鎌倉市内
2. 視察事項 クラウドファンディングによる観光施設整備事業
～「かまくら想い」プロジェクトについて～
3. 視察日時 令和2年1月15日
4. 参加者 ① 本多 俊昭..... ② 小林 均.....
③ 石井 馨..... ④



令和創生の会行政視察行程表

日時	月日	行程				
1	1/15(水)	【JR東北本線】	【やまびこ126号】	【JR横須賀線】	【徒歩】	
		二本松駅 7:58	郡山駅 8:23/8:49	東京駅 10:08/10:25	鎌倉駅 11:24	鎌倉市役所 視察13:30~15:30
		【タクシー】	【タクシー】	【JR横須賀線】		
		かまくら想いプロジェクト設置場所 視察15:40~16:20	「鎌倉ものがたり」設置場所 視察16:20~17:00	鎌倉駅 17:21	横浜駅・市内(泊) 17:45	
2	1/16(木)	【徒歩】	【JR横須賀線・総武線】	【バス】		
		宿泊先 9:30	横浜駅 10:05	幕張本郷駅 11:15	11:25~11:35	市町村アカデミー (研修所内泊) 研修13:30~16:45(別紙)
3	1/17(金)	【バス】	【JR総武線】	【やまびこ55号】	【JR東北本線】	
		市町村アカデミー 研修9:00~12:15(別紙)	幕張本郷駅 13:32	上野駅 14:17/14:42	郡山駅 16:01/16:12	二本松駅 16:35

【宿泊先】

ホテルホテルビスタプレミア横浜 TEL045-650-3222 横浜市西区みなとみらい6-3-4
市町村アカデミー TEL043-276-3126 千葉県美浜区浜田1丁目1番

【視察・研修項目】

- ①鎌倉市におけるクラウドファンディングによる観光施設整備事業他、観光の取り組み
- ②市町村議会議員特別セミナー(市町村アカデミー主催) 詳細は別紙



鎌倉市
市民生活部観光課

主事 片相 良太

〒248-8686 神奈川県鎌倉市御成町18番10号
電話 0467-61-3884 FAX 0467-23-7505
Mail kankou@city.kamakura.kanagawa.jp



鎌倉市
市民生活部 次長
観光課長 事務取扱
歴史まちづくり推進担当担当課長事務取扱

廣 川 正
Tadashi Hirokawa

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号
Tel: 0467-23-3000 (内線 2351)
Fax: 0467-23-7505
E-mail: hirokawa@city.kamakura.kanagawa.jp

(別紙1-2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 令和創生の会
氏 名 本多俊昭

- ◎ 月 日 令和2年 1月15日 (水)
- ◎ 場 所 鎌倉市役所 (鎌倉市観光商工課)
- ◎ 内 容 クラウドファンディングによる観光施設整備事業

◎ 視察・研修の感想

鎌倉市の観光は、国内でも知名度が高く、年間入込観光客2200万人前後と首都圏からの日帰り観光客が多いため、大変混雑し市民からは観光公害化しているとの声もあり、市民意識からしても、税金を観光に充てるのではなく、ほかの収入を確保する取り組みが求められていると認識され、ホームページや観光マップ等への広告掲載、海水浴場のネーミングライツを推進された。(一財)ジャスト・ギビング・ジャパンからクラウドファンディングの提案があり、後に、平成23年12月に地方自治法施工例第158条の改正があり、私人に寄付金の収納義務を委託できることになったことも手伝い、クラウドファンディングに取り組むことになり「かまくら想いプロジェクト」として検討を進められた。観光案内板をクラウドファンディングすることとし観光客の関心を引き付けるとともに観光客の分散化を図る狙いもあった。また、寄付者の氏名を「銘板」に記載し取り付けた。資金提供者には受取証明を、差引額ではなく寄付金全額の額面表示で発行する会計上の仕組み都度課金方法で行われているとの説明がありました。クラウドファンディングは、手軽さはあるものの、寄付の目的が明確で、かつ魅力がないと継続していくことが困難と思えた。

◎ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を掲載する。

資金提供者が興味、関心を持つようなものを提案できるかどうかだが、本市に於いても歴史的価値や希少性のあるものが数多くあることから、このクラウドファンディングに限らず、市が実施する事業については多くの人に興味を持ってもらうように取り組んで行く必要があると感じた。

視察と結果報告書

1 視察の目的

日本で初となる地方自治体主体のクラウドファンディングを活用した施策「かまくら
想い」プロジェクトの取り組みと、その後の取り組みについて視察し、本市でのふる
さと納税制度や様々な施策への参考にしたい。

2 視察結果若しくは成果

鎌倉市の人口は17万2千人。一般会計612億、市税割合58.0%、財政力指数は1.08で
不交付団体。国宝から市指定まで文化財が600点。関東屈指の歴史都市でもあります。
言わずと知れた観光地であり、年間約2,000万人が訪問。駅前にも賑わいがありました。
鎌倉ブランドイメージが高く、全国の魅力度ランキングで例年ベストテン入り。特に力
を入れているワケでもないが、メディアが勝手に取り上げてくれているとのこと。ただ
都心からの日帰りが多く、なかなかお金が落ちないのも悩み。交通渋滞も酷いとか。
クラウドファンディングは（一財）ジャスト・ギビング・ジャパンからの提案で着手。
IPSの山中教授やエベレスト登山の三浦雄一郎氏が資金を募った日本最大のクラウドフ
ァンディングサイト。100万円を目標額に市内10か所に観光ルート案内板を新設する「か
まくら想いプロジェクト」を立ち上げたところ、22日であっさり達成。
寄付者のリターンは案内板に寄付者の名前の銘板が取り付けられるとのこと。（写真参
照）「鎌倉市のまちづくりに貢献できる喜び」、「鎌倉が大好き」そんな鎌倉ファン
の育成にもつながっていると。

第2弾は「幕末・維新」をテーマに知られざる鎌倉を紹介する案内板を新設。第3弾で
は漫画「鎌倉ものがたり」に登場する比較的有名でない鎌倉の名所への案内板の設置に
より観光客の分散化を図るプロジェクトが行われた。

課題としては、他の自治体もクラウドファンディングに取り組むようになり、新鮮味が
なく寄付額も減少傾向だとか。今後は、ふるさと納税制度を活用した「ガヴァメントク
ラウドファンディング」に取り組んでいくとのこと。

クラウドファンディングを活用した取り組みでは、鎌倉市は全国の自治体で初めてで
あり、大変に参考になった。本市でも、観光施策に限らず、教育、福祉分野でも、ふ
るさと納税制度と連携した形での活用を進めて行きたいと思う。

※ 添付資料（視察資料、写真、説明者の名刺（写）、行程表 等）

報告者氏名 小林 均

行政視察報告書

※視察先ごとに作成し報告書に添付

議員名 石井 馨

○ 視察日 令和 2 年 1 月 15 日

○ 視察先 神奈川県鎌倉市

○ 視察内容 鎌倉市クラウドファンディング事業視察

○ 視察の感想

観光都市である鎌倉市では、豊富な観光資源を生かした事業を展開している。鎌倉市の観光の特徴としてリピーターが多く、再来訪意識が強いことがデータで裏付けられており、歴史・文化、自然・景観、ウォーキングなどの野外活動、食の魅力といった様々な年代、目的に合わせた多様性のある観光事業となっている。その一方で、車の渋滞や混雑、ゴミの散乱や観光客の騒音などにも悩まされてきた。そこで、鎌倉市では、鎌倉が持つ様々な魅力や価値が世界に誇る貴重な財産であることを認識し、観光に携わるものが連携し、「住んでよかった。訪れてよかった」と言える観光都市を目指して、分散型の観光客誘致に取り組んだ。

まず、目的達成のための収入確保として、ホームページの広告掲載や海水浴場のネーミングライツにより、安定的な収益を確保できた。一方、もう一つの収益確保として、クラウドファンディング事業に取り組んでいる。

このクラウドファンディング事業はオーバーツーリズム対策として観光ルート板の設置費用として、1基10万円×10基として100万円を目標に募集したところ初年度は22日で達成と関心の高さを示した。この事業により安定的な収入を確保し、様々な観光地を観光客に知ってもらうこととなり、鎌倉市の目指す方向になったとのこと。

上記に加えて、かまくら想いプロジェクトについても取組みを行なっている。内容としては、上記のルート板設置に加えて、旧鎌倉地区周辺の観光スポットを示す案内板設置や、名所の掲示板とそこに至る観光ルート板の整備を行なう事業である。クラウドファンディングについて手軽にできるよう改善を図った

